

「くらしの公開講座」オンライン開催

テーマ

ミャンマーで何が起きているの？ ～平和の大切さを考えよう～

2021年の2月、ミャンマーで突然軍事クーデターが発生し、子どもたちや一般市民が巻き込まれるなど多くの方の命が奪われています。テレビのニュースや新聞だけでは伝わっていない惨状が日々起きている今、ミャンマーの歴史的な背景と日本との関係性を学び、平和の大切さを考えましょう。

今回はZoom（ズーム）を利用したオンライン講座で、ご自宅から参加できます。お気軽にご応募ください。

日時

2022年2月26日(土) 10時～12時

講師

小川モモウさん(在日ミャンマー人)
藤永延代さん(元パルコプ有識理事)

組合員さん
でない方も
参加できます

〈小川モモウさんのプロフィール〉

ミャンマーの民主化のための、在日ミャンマー人関西グループのまとめ役。また、今年の5月に設立された民主派勢力への支援組織「MYANMAR NATIONALITIES' SUPPORT ORGANIZATION - JAPAN」（略称：MNSO-JP ミャンマー国民支援協会）代表。国軍に対抗するため今年の4月に樹立した「国民統一政府（NUG）」閣僚とも連携して、民主派勢力への支援に向けた取り組みをすすめています。

定員

100名(応募多数の場合抽選)

申し込み締め切り

2022年2月4日(金)

※結果はメールにて2月11日までにご連絡します



申し込み方法

ホームページからの申し込みのみとさせていただきます。ホームページの専用フォームより、下記の①～⑤を入力してお申し込みください。

- ①お名前 ②(組合員の方は) 組合員コード ③ご住所
④電話番号 ⑤メールアドレス

<https://www.palcoop.or.jp/form/survey/satooya/>

スマートフォンの方は
こちらから↓



参加費
無料

※応募で得た個人情報は学習会の企画案内以外には使用しません。

【事前に確認・準備していただくこと】

- インターネットに接続できるパソコン(WEBカメラつき)、スマートフォン、タブレットが必要となります。
- 当日使う機器にZoomアプリをダウンロードしてください
- 通信費は各自でのご負担となりますので、通信環境はWi-Fiを推奨します。

お問い合わせ

組合員サービスセンター ☎0120-299-070 携帯からは☎072-856-7671(有料)
(月・土 9:00～17:00 火～金 9:00～18:00)

主催：生活協同組合おおさかパルコプ



大阪市ごみ減量フェスティバル on Web

大阪市まちづくり連絡会（大阪市）

くらし
平和 環境 食
組合員活動の
コーナー



動画では、パル子ちゃんと一緒にリサイクルの現場を見学することもできます



動画作成中のようす



紹介した動画は、左記の二次元コードからご覧になれます（約2分半。パルコプのYouTube公式チャンネルに繋がります）

子どもから大人まで、ごみ減量・3Rについて楽しく知り学ぶイベント「ごみ減量フェスティバル」。今年はウェブ上でさまざまなプログラムが開催されました。主催する大阪市環境局事業部の要請に応え、パルコプからは大阪市まちづくり連絡会の委員さんが活動紹介動画を出演しました。

コロナ禍以前は、大阪城公園で開催されていて、委員のみなさんもブースを出展、来場者にエコクイズに答えてもらったり、「ごみ分別ゲーム」など、楽しんで学べたりするような企画で取り組んでいました。

今回の動画作成にあたり、まちづくり連絡会の委員さんのアイデアを持ち寄り、パルコプの活動で何を伝えたいか検討し、リサイクルのを中心に紹介することに。シナリオ作成から、撮影・ナレーションの吹

き込み・編集まで自分たちで行いました。

パルコプでは、配送時に紙飲料パック・卵パック・商品案内カタログ・仕分け袋などを回収しています。「週1回出すだけで誰でも気軽に環境活動に参加できることを知ってほしい」というのが委員さんの思いです。

「実は、誰も動画作成の経験が無かったのですが、アプリを駆使し、みんなで知恵を出し作りあげることができました。これを機に改めて生活を見直すきっかけにもなったし、やって良かったです」と担当したAプロの委員さん。

青い地球を子どもたちに残すため、気づきあい、学びあっていく、次につながる活動になりました。

くらしの公開講座オンライン開催

「里親制度ってなあに？」

11月20日 ウェブ参加24名



講師の太田さん

「里親」について、大阪乳児院「里親支援機関おむすび」で里親支援専門相談員をされている太田さんを招きお話を伺いました。

里親の種類

養子縁組里親	親が育てられない子どもを養子として育てる（普通養子縁組・特別養子縁組）
養育里親（はぐみホーム※）	事情があって家庭で育てられない子どもを一定期間家庭で育てる
専門里親	虐待を受けた子どもなど生活上細やかな配慮が必要な子どもを育てる
親族里親	行方不明などの事情により養育できなくなった場合、子どもの親族が育てる
週末里親	児童養護施設などで生活する子どもと週末などを家庭で過ごす

※大阪府での愛称

「里親」について、大阪乳児院「里親支援機関おむすび」で里親支援専門相談員をされている太田さんを招きお話を伺いました。

「社会的養護」について、保護者がいない・保護者に監督保護させることが適当でない児童を公的責任の下で社会的に養育するしくみ「社会的養護」についてお話されました。家庭で子育てができない事情はさまざまで、虐待・親の失業や不安定雇用・親の離婚による経済的困難・家族や子ども本人の身体的精神的疾患・若年女性や未婚女性など望まない出生などです。

子どものための保育・保護・擁護を行う「児童福祉施設」は乳児院・児童養護施設などさまざまな形態で、安定した生活を提供し、児童が社会に出るまでのサポートに尽力されています。「私が働いている大阪乳児院では、さまざまな配慮や工夫をしながら愛情を持って子どもたちと接しています。自分は大切にされているという思いが、乳児院を退所しても心の拠り所となることを願いながら子どもたちを送り出すその日まで成長を見守ります」と太田さん。

「家庭養護（里親）」について、保護者がいない・保護者に監督保護させることが適当でない児童を公的責任の下で社会的に養育するしくみ「社会的養護」についてお話されました。家庭で子育てができない事情はさまざまで、虐待・親の失業や不安定雇用・親の離婚による経済的困難・家族や子ども本人の身体的精神的疾患・若年女性や未婚女性など望まない出生などです。

子どものための保育・保護・擁護を行う「児童福祉施設」は乳児院・児童養護施設などさまざまな形態で、安定した生活を提供し、児童が社会に出るまでのサポートに尽力されています。「私が働いている大阪乳児院では、さまざまな配慮や工夫をしながら愛情を持って子どもたちと接しています。自分は大切にされているという思いが、乳児院を退所しても心の拠り所となることを願いながら子どもたちを送り出すその日まで成長を見守ります」と太田さん。



←もう少し詳しい内容をホームページに掲載しています。https://www.palcoop.or.jp/blog/chiiki_katsudou/2021/12/pal192-1.html
左記の二次元コードからもご覧になれます。
次号1月号からは新コーナーで「里親制度」について連載いたします。